※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１７

令和５年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	教育芸術社「MOUSA１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野で、バラエティーに富んだ音楽体験ができるようになっています。さまざまなジャンルにチャレンジして、音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。また、グループでの演奏で感性を磨きながら自己実現していくことを大切にします。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる脂質・能力を次の通り育成する。

１　曲想と音楽の構造や文化的･歴史歴背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

２　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや､音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

３　主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽構造や文化・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。【知識】 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同時の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第１クール	正しい発声を身に付けよう	【歌唱】 ・校歌 ・ふるさと ・ひまわりの約束	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】姿勢や呼吸法などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:親しみやすい歌や校歌のリズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:独唱や三部合唱など音楽を　幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 発表 ワークシート
第２クール	ドラムに挑戦	【器楽】 ・ドラム「８ビート」 ・選択曲 【創作】 ・フィルイン	a:【知】基本的なドラムセット、ドラム譜の読み方を理解している。リズムの特徴及び、構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方を身に付け、器楽で表している。ドラムの音色、リズムの特徴を活かし、フィルインを作る技能を身に付け、創作で表している。 b:音色、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように創作し、演奏するかについて表現意図をもっている。 c:リズムや、ドラムの音色、フィルインの効果に関心をもち、主体的に器楽、創作の活動に取り組もうとしている。	筆記テスト 創作作品 発表	創作作品 ワークシート	観察 練習記録 自己評価

※令和４年度以降入学生用

第3クール 第4クール	和楽器に親しみ、演奏にチャレンジ	【器楽】 ・箏「さくら変奏曲」 【鑑賞】 ・箏曲「みだれ（乱論舌）」	a:【知】曲想と和楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方を身に付け、器楽で表している。 b:音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて表現意図をもっている。 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想と和楽器の音色や奏法のとの関わりに関心をもち、主体的に器楽・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	レポート ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 発表
	世界の諸民族の音楽を知ろう	【鑑賞】 ・世界の諸民族の音楽 【歌唱】 ・アリラン	a:【知】世界各国の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。言葉の特性と曲種に応じた発生との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、アリランにふさわしい発声を身に付け、歌唱で表している。 b:音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。旋律やテクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:世界各国の音楽の特徴と文化的・歴史背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声について関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	レポート ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 発表

※令和４年度以降入学生用

第5クール	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 キーボードアンサンブル ・選択曲	a:【知】楽譜の読み、基本的な奏法について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:楽譜の読みや奏法、他者との調和して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組んでいる。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	観察 練習記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度